

2024年7月12日

株式会社フジタ

代表取締役社長 奥村洋治

2024年 VE 発表会を開催

大和ハウスグループの株式会社フジタ（本社：東京都渋谷区、社長：奥村洋治）は、6月28日に「2024年 VE（バリューエンジニアリング）発表会」を都内の会場およびウェブ会議システムを活用し、開催しました。

1. 概要

日時：2024年6月28日（金）

発表数：26編

参加者：474名（フジタ本社および支社、支店、事業部、関係会社）

2. 開催の趣旨

発表会はフジタ、関係会社から優れた VE 実施事例を報告することにより、相互の情報交換を通じて VE 技術の向上と VE 活動の啓もう・発展を図ることを目的に毎年開催しています。

3. 発表内容

冒頭、組田良則上席執行役員品質・環境本部長（VE 推進委員長）より挨拶がありました。続く事例発表では、本社および支店、事業部などから VE の取り組みとして 2023 年度に報告された VE 事例 545 件の中から、建築、設計、管理、営業、設備、土木の 6 部門 24 編、ならびに関係会社より 2 編が発表されました。発表内容は施工の省力化・合理化、建築物の機能の向上、コスト削減に関する取り組みなど多岐にわたりました。

表彰式では、最も評価が高かった発表に社長賞が贈られたほか、最優秀賞、優秀賞、環境部門賞、特別賞の各賞を発表し、表彰状が手渡されました。

組田良則上席執行役員品質・環境本部長（VE 推進委員長） 挨拶要旨

当社は VE を 1968 年に導入して以降、今年度で 56 周年を迎えた。すでに半世紀以上も VE を推進し当社にとっては風土や文化となり定着している。長年にわたり世の中が変化する中でも、VE の根本的な考え方は大きく変わるものではないが、お客さまにどのような価値向上をご提案・ご提供するのかは時代とともに様変わりしており、これまでもそれぞれの時代に合わせた取り組みを 50 年以上も続けてきた。昨今でもお客さまの価値観は大きく変化し、働き方改革や生産性向上、環境、DX の観点から、VE 提案をしていくことが不可欠であり、今後も新たな価値の向上や課題解決の手法として VE を積極的に活用してほしい。

本日の発表会は、社内より 500 件以上の VE 報告があった中から厳選された 26 件が発表される。今後の活用に向けてしっかり聞いて吸収してもらいたい。また、発表する方もどのような価値向上を目指したのか、そして、そのためにどのような工夫、努力をしたのか、そういったポイントを明確にした発表を心がけてほしい。この発表会が素晴らしいものになることを期待している。

4. 審査結果

審査の結果、優秀事例は以下の通りです。

■社内

- 社 長 賞：設計部門「複雑な意匠デザインを実現するための3DCAD・モデル活用」
※最優秀賞同時受賞
：品質・環境本部「目標達成に向けた内部監査の改善とその効果」
※特別賞同時受賞
- 最 優 秀 賞：建築部門「既存鉄骨の実測手間削減」
：営業・管理部門「営工一体の繰り返し提案による工事受注」
：土木部門「土運搬のコスト縮減、安全性の確保」
- 環 境 部 門 賞：設備部門「BIM設計配管プレハブ及び設備工事の改善」
土木部門「残土搬入車両集計方法の改善」

■関係会社

- 最 優 秀 賞：株式会社テクノマテリアル「3Dプリンターの活用」



組田 VE 推進委員長から受賞者に表彰状が手渡された。

【お問い合わせ先】

株式会社フジタ

〒151-8570 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-25-2

広報室

TEL 03-3402-1911